

# 小学校の図書室における 学校図書サポーター の取り組み

学校図書サポーター

永井 暁美さん / 宮崎 千枝美さん

2024年2月24日(土)

# 学校図書サポーターの役割と活動について

- ・本のPOPづくりや飾りつけ、読み聞かせが主な役割です。
- ・2018年4月からスタート
- ・山南地域、柏原地域、氷上地域の11校の小学校を  
月1回訪問し、4時間の活動をしていました。
- ・2020年4月からは青垣地域、春日地域、市島地域が追加
- ・現在は、小学校19校(丹波市は全21校)
- ・奇数月:山南・柏原・氷上 / 偶数月:青垣・春日・市島

# 学校図書サポーターを始めたきっかけ

・丹波市教育委員会から

「図書室が殺風景なので、楽しくなるような、行ってみたいと思えるような、本を見たいと思うような雰囲気をつくってほしい」と、依頼を受けました。

・司書の資格は持っていないが、読み聞かせボランティアの経験を活かし、子どもたちが利用する姿を想像しながら、図書室の環境づくりをしています。

# 学校図書館の活動①

## お話の飾り付け



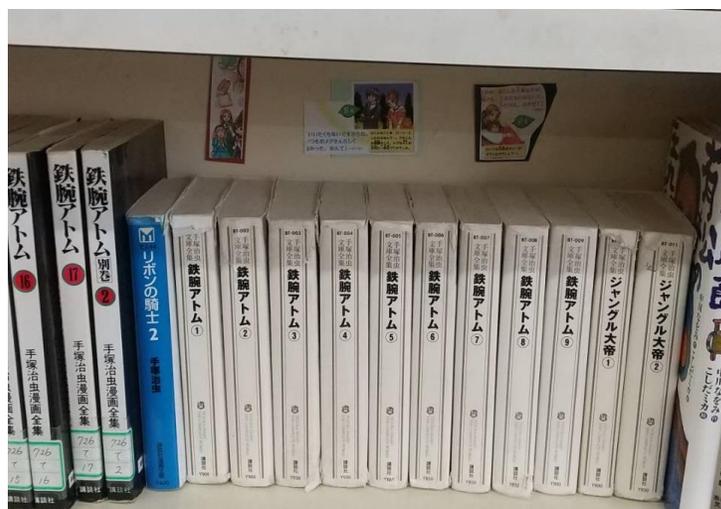
# 学校図書館の活動②

## 季節や行事に関する飾り付け



# 学校図書館の活動③

## あそびを取り入れ、本に関心をもってもらう



# 学校図書館の活動④

## 英語に親しんでもらうための仕掛け



# 学校図書館の活動⑤

## “恐竜のまち丹波市”を伝えるために



# 学校図書館の活動⑥

## 子どもたちに合わせた飾りつけ



# 学校図書サポーターとして思うこと

- ・図書委員の子どもたちと一緒に活動することが、時間の制約で難しい
- ・各学校で、本の分類や並べ方がまちまちで、本が入り切らないことも
- ・先生たちは多忙。そして異動がある。

図書室の本を整え、子どもたちが好きな本に出会うためには

学校司書の存在が不可欠

ありがとうございました。

学校図書サポーター

永井 暁美さん / 宮崎 千枝美さん